リハビリテーション医学

科目ナンバー　7B227
基礎分野　　必修　　1単位

大塚　博史

1. 授業の概要（ねらい）

医療技術の進歩によって疾患の治癒率が上昇した一方で、様々な障害や社会的問題を抱える人々は年々増加しており、リハビリテーション医学を学ぶ意義は高まっています。
本授業では、リハビリテーションの現場で見られる疾患・症候について知識を身につけます。そのため、定期試験の他、授業で習った内容を効果的に定着させるため、毎授業冒頭に前回授業内容に関する演習問題を行います。
また、国家試験には当該分野からも多く出題されるので、国家試験も見据えて授業を行います。
定期的に小テストを行い、当該範囲の理解を深め、問題の解説時にはグループディスカッションも行います。
この授業ではDP1・2に関する知識を修得します。
本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は医療機関（整形外科・リハビリテーション科）で従事しており、授業では、臨床例、課題などを題材とした講義、実習を行います。

2. 授業の到達目標

リハビリテーション医学特有の考え方が理解し、リハビリテーション医学で対象となる各疾患および障害、各種評価法および治療法を説明できる。
また、国家試験を見据え、当該範囲の理解を深めます。

3. 成績評価の方法および基準

期末筆記試験（100%）で評価を行い、60%以上を取得した者を合格とします。
2/3以上の出席がない学生の評価は行いません。
全体に対するフィードバックとして、第15回授業でまとめと振返りを行います。

4. 教科書・参考文献

教科書
全国柔道整復学校協会　監修　リハビリテーション医　改訂第4版　南江堂

5. 準備学修の内容

予習としてLMSで指定された課題についてまとめてから授業に臨んで下さい。
教科書の指定の部を読み（授業内容の項目およびLMS）、全体の概要をとらえておき、難読と思われる用語については事前に読めるよう調べて下さい。
復習としてLMSで指定された項目についてまとめ、さらに確認問題を解いて下さい。
およそ予習に1時間、課題と問題解答の復習に2時間を見込んでいます。

6. その他履修上の注意事項

① 座席は教員が指定します。
② 7.授業内容に沿って授業を進めますが、状況により調整を行う場合があります。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション
【第2回】　リハビリテーションの概念
【第3回】　リハビリテーション医学の評価と診断
【第4回】　理学療法、作業療法
【第5回】　補装具（前半）
【第6回】　補装具（後半）、言語療法
【第7回】　脳卒中（前半）
【第8回】　脳卒中（後半）
【第9回】　脊髄損傷
【第10回】　小児疾患、切断
【第11回】　末梢神経損傷、関節リウマチ
【第12回】　心疾患、呼吸器疾患
【第13回】　整形外科疾患、老人のリハビリテーション
【第14回】　リハビリテーションと福祉
【第15回】　授業のまとめ